

永年勤続議員表彰

第90回全国市議会議長会定期総会が5月28日東京都内で開催されました。

永年にわたる市議會議員としての功績が認められ、4名の議員が表彰されました。

(敬称略)

●正副議長在職4年以上

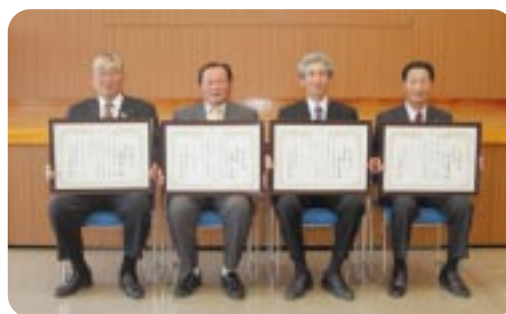
渡部 功
土田 与七郎

●在職15年以上

佐藤 賢一

●在職10年以上

佐々木 慶治
渡部 功



※左から、佐藤、渡部、土田、佐々木の各議員

表紙説明

★作品名 「べんりなエスカレーター」
かつやま 勝山 佑さん（小友小3年）



ボタンをおすと、車いすやベビーカーの人がのれる広い段ができ、お年寄りや疲れた人が休めるいすがついた段が出てくるエスカレーターです。

★作品名 「何にでもすらすらカラーペン」
まつもと 松本 心成さん（岩城小2年）



このペンは、太陽の光を集めておき、夜でも、いろんな所に絵をかくことができる。例えば、砂浜の砂の上にカニの絵をかいて自分で自由に楽しくなれる。

★作品名 「食べごろ発見手ぶくろ」
たかはし 高橋 優衣さん（新山小4年）



この手ぶくろをはめて、木になっているくだ物に手を近づけます。くだ物が食べごろになっていると、音楽が鳴って知らせてくれます。

市民の声

「思うこと」

大内地域 佐藤 園子

介護保険制度が始まり、社会全体で高齢者を支えましようとなってから14年が経ちました。14年の間に数回の見直しと改正があつて、今日の介護保険制度に至っております。

高齢者介護の現場では、少ないスタッフがやりくりをしながら、時間や業務に追われ、気がつくとも1日が終わってしまう毎日を過ごしています。

そんな日々の中でも、ご利用者・入所者様に対しその人にとって今一番必要なことはなにか？その人らしく楽しく過ごしていただくには自分たちは何をすればいいのか？ということ、関わるすべてのスタッフが一生懸命考えながらケアを行っているということをこの場をお借りして皆様にご理解をしていただけたら幸いです。

市や市議会の皆様方には多くの福祉現場に足を運んでいただき、現場の声を市政に反映し福祉の町の最前線として住みよい由利本荘市を構築してほしいと思います。



編集後記

「むずかしいことをやさしく、やさしいことをふかしく、ふかいことをゆかしく、ゆかいなことをまじめにかく。」これは、作家井上ひさしのことばです。インターネットや携帯電話が日常的なものとなり、今や私たちの「ことば」は、「読む・書く」ということをすっかり変えようとしています。「ことばの力・読む力・書く力」の減退は、想像力を枯渇させ、人間関係や社会の閉塞感を一層際立たせます。今こそ市政にかかわる私たちは、「ことばの力」を取り戻し、復権を信じ、人と人の関係を修復させなければなりません。

(今野英二)

議会報編集特別委員会

委員長 佐藤 三
副委員長 伊藤 今
委員 渡部 佐々木

渡部 功 佐藤 賢一
伊藤 三 渡部 功
佐々木 慶治 渡部 功
渡部 功 渡部 功

年4回発行／印刷所 由利印刷

第37号

平成26年／2014
8月1日発行

市議会
だより

「第36回 未来の科学の夢絵画展」国立科学博物館長賞 べんりなエスカレーター

まちを見つめ市民とともに歩む

ゆりほんじょう

CONTENTS 2014 AUGUST

平成26年 第2回市議会定例会（6月）

- P02 定例会概要
- P04 委員会審査報告
- P08 第1回臨時会(4月) 議会の動き
- P09 行政視察報告 関係私企業
議長交際費
- P10 一般質問
- P12 永年勤続議員表彰 市民の声
表紙説明 編集後記



朝日新聞社賞
何にでもすらすらカラーペン



朝日小学生新聞賞
食べごろ発見手ぶくろ

第29回 国民文化祭・あきた2014
平成26年 10月4日(土)～11月3日(月・祝)

発行／由利本荘市議会
編集／議会報編集特別委員会
〒015-8501 秋田県由利本荘市尾崎17番地 電話／0184-24-6386 FAX／0184-27-1793
ホームページ <http://www.city.yurihonjo.akita.jp> 由利本荘市議会 検索



「第29回 国民文化祭・あきた 2014」 in 由利本荘市総合オープニングを行います！

開催日 平成26年9月26日(金) 会場 カダーレ

国民文化祭の事業PRを行うとともに、BRONZE道心による、地元の高校生や民俗芸能団体とのコラボレーションステージを上演します。

特別会計補正予算

単位：万円（四捨五入）

費 目	補正額	補正後の額	概 要
診療所運営特別会計	▲180	4億7,005	職員人件費の減額など
情報センター特別会計	▲608	3億9,722	職員人件費の減額など
地域情報化事業特別会計	129	1億1,421	県道拡幅に伴う電柱移設経費など
介護サービス事業特別会計	2,181	7億8,982	職員人件費の増額など
下水道事業特別会計	▲3,347	27億7,271	本荘地区事業費の減額（25年度補正予算で措置）など
集落排水事業特別会計	7,197	22億9,444	大内地域の下水道管移設補償工事費など
簡易水道事業特別会計	164	8億9,103	岩谷浄水場の修繕と大小屋浄水場の用地購入費など
水道事業会計	▲1,466	29億8,252	職員人件費の減額など
ガス事業会計	▲1	16億4,441	職員人件費の減額など

議案の表決結果一覧表

○：賛成 ×：反対

公派・議員名	高 志 会										創 風					市民クラブ					公明党	社民党	共産党	無所属	無所属	表決数		議 決 結 果	
	伊藤順男	佐藤賢一	高橋信雄	渡部聖一	湊貴信	土田与七郎	村上亨	高橋和子	長沼久利	梶原良平	大関嘉一	佐藤謙司	渡部専一	高野吉孝	渡部功	佐々木慶治	佐藤勇	吉田朋子	井島市太郎	佐藤徹	三浦晃	伊藤岩夫	今野英元	佐々木隆一	三浦秀雄	鈴木和夫	賛成		反対
議案	第91号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	一	23	2	原案可決

議案第91号：税条例の一部を改正する条例案（軽自動車税の税額改定など）

※鈴木議長は、採決に加わりません。
※採決で賛否が分かれた案件を掲載しています。ほかは全て全会一致で同意・可決されました。
※社民党：社会民主党 共産党：日本共産党

古くなってきた市役所本庁舎はどうするの？

市役所の本庁舎は昭和44年に建設され築45年となりました。平成24年から平成25年に、約4億6千万円をかけて耐震改修工事を完了し、今年度は外壁塗装・屋上防水等工事を行うことで、「向こう15年程度は耐震性と安全性が確保！」とは言え、老朽化は進んでいます。そこで、将来の新庁舎建設費を60億円と想定し、合併市町村振興基金と併せ「由利本荘市本庁舎建設基金」を設置して、今年度より年間1億円程度を積み立てることとしました。そのための条例案と補正予算が今定例会に提出され、可決されました。



契約関係（主なもの）

- 消防救急無線デジタル化整備工事請負契約の締結
- 消防ポンプ自動車1台を4968万円で（株）高義商会と契約
- 消防ポンプ自動車1台を6771万6千円で（株）相模商店本荘営業所と契約
- 小型動力ポンプ付積載車3台を2592万円で（株）タカギと契約

条例関係（主なもの）

- 庁舎建設基金条例の制定（本庁舎の建設資金に充てるため制定）
- 職員の配偶者同行休業に関する条例の制定
- 職員の自己啓発等に関する条例の制定（ともに地方公務員法の規定に基づき制定）

人事案件

- 教育委員会委員
再任 三船 文夫 氏（鳥海町小川）
- 人権擁護委員
新任 遠藤 勇喜 氏（赤田）
再任 保科 良子 氏（大中ノ沢）
再任 高橋 榮子 氏（西目町西目）
- 固定資産評価審査委員
新任 今野 正樹 氏（岩城道川）
新任 澤田 宣夫 氏（石脇）
新任 斎藤 弘隆 氏（一番堀）

平成26年度一般会計補正予算

5億4940万2千円を追加

合計 522億7811万6千円

平成26年6月定例会は、6月2日から20日までの日程で開催されました。

今定例会への提出議案は、人事案件7件、条例関係6件、契約関係9件、補正予算12件、その他2件の計36件が上程され、審議の結果、原案のとおり同意・可決しました。

単位：万円（四捨五入）

費 目	補正額	補正後の額	概 要
議 会 費	▲309	2億7,623	職員人件費の減額など
総 務 費	9億3,961	64億9,065	本庁舎改修事業・本庁舎車庫等建設事業 庁舎建設基金積立金
民 生 費	1億3,810	130億635	石脇西保育園改築事業補助金
衛 生 費	▲3,721	46億2,647	職員人件費の減額など
労 働 費	808	2億944	地域特産品チャレンジショップ運営事業
農林水産費	1億5,689	38億414	地域農産物販売力強化事業 中山間地域支援事業
商 工 費	1億5,541	12億1,381	地場産業センター（東由利：ぶれっそ）整備事業 地域人づくり事業
土 木 費	▲7,655	45億8,544	道路維持事業・西目地域「宮崎団地」公営住宅整備費 防災公園整備事業費の減額（25年度補正予算で措置）
消 防 費	▲7億2,407	44億9,984	消防庁舎建設事業、消防救急無線デジタル化 整備事業費の減額（25年度補正予算で措置）
教 育 費	▲1億838	47億5,162	本荘北中学校体育館改修事業・英語教育強化地域拠点事業 出羽中学校改修事業の減額（25年度補正予算で措置）
災害復旧費	9,782	1億6,216	市道宮ノ沢線災害復旧事業 地滑り災害復旧費



教育民生 常任委員会

Q、美術品の内容と保管は、
A、水彩画、版画、ステンド
グラス、図録など約750点
で、今後亀田城美術館で保管
し企画展などを開催する。故
互井画伯は戦後「三軌会」を
結成し日本水彩画壇の中心的
な存在で多くの後進の育成に
あたった。

故互井開一氏の
絵画作品など
約750点が
寄附される



寄附される作品「トレド」 31.5×41.0cm

Q、200区画の応募について
A、墓石の型が規制墓地の洋型、
和型と自由墓地があり、5月23日
の抽選会には80人の応募者があつ
た。重複した墓地もあり、1区画
で最大の重複人数は5人の抽選と
なる区画もあったが、この日80区
画が決定し、残り120区画とな
った。

市営「新山野墓園」
第二期拡張整備地
申し込み状況について

就学前幼児教室 さくら教室 開設

Q、就学に不安を抱えている5歳児の「さくら教室」とは。

A、小学校入学は子どもにとって期待と不安の入り交じったものである。
言葉のコミュニケーションが苦手だったり、落ち着きがなく、友達との
かかわりが苦手だったり、運動面で不器用な子どももいる。子どもが楽
しい学校生活を送れるようサポートするのが「さくら教室」である。

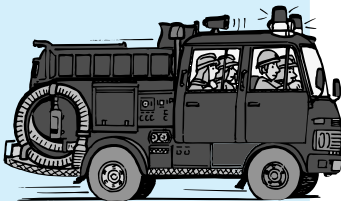
就学前の幼児教室 「さくら教室」

対象児：就学に不安を抱えている5歳児
教室：・毎週木曜日（14:00～15:00）
岩谷小学校1階相談ルーム
・毎週金曜日（14:00～15:00）
鶴舞小学校2階さくら教室

消防庁舎建設工事 約2686万円の増額

Q、増額の内容はどのようなものか。

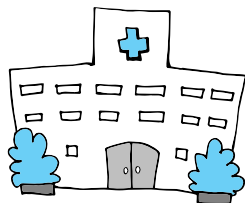
A、工事進捗率は5月末で約30%となっている。今
回の増額は、くい工事の際に発生した土量が当初の
見込みより多量であったた
め処理経費がかかったもの
で、庁舎建設費総額は22億
3428万円となり、今年12月
22日までの工期となる。



鳥海診療所
石川医師の
休暇確保について

Q、鳥海診療所の診療が4月3日
より開始されたが現状について伺
う。

A、一日平均患者数は鳥寿苑を含
み34人となっている。石川医師の
休暇を確保する
ため、由利組合
総合病院、本荘
第一病院、佐藤
病院から医師が
派遣されること
になった。



石脇西保育園改築事業で 1億1300万円の補助

Q、未満児は何人いるのか。また、現状は。

A、0歳児20人、1歳児36人、2歳児35人の91人（6月1日
現在）がおり、保育園全体では定数200人を上回る220人の園
児がいる。未満児棟の建物は昭和51年に建てられたもので築
37年になる。この改築総事業費は約1億7900万円となる。

国は地域経済活性化対策として 三つの交付金で 地方を後押し

Q、「地域の元気臨時交付金」とは。

A、国の日本経済再生に向けた緊急経済対策で追加
される公共投資の地方負担が大規模であり、予算編
成の遅延という異例の状況の中で、地方の資金調達
に配慮し、本経済対策の迅速かつ円滑な実施を図る
ため、今回限りの特別の措置として、平成24年度補
正予算において、地域の元気臨時交付金（地域経済
活性化・雇用創出臨時交付金）を創設し、地方公共
団体が作成した地域の元気臨時交付金実施計画に基
づく事業に対し、国が交付金を交付することにより、
地域経済の活性化と雇用の創出を図ることを目的と
するもの。

本市では、交付金を各地域の道路改良維持補修事
業、アクアパル改修事業などのほか、各種事業に活
用する。

市の単独補助金を検証し 持続可能な財政運営を

Q、補助金等検証委員会とは。

A、平成27年度から始まる「地方交付税合併算定
替えの通減」により、向こう5年間で約50億円の
地方交付税が減少するため、行財政改革の一環と
して、市単独補助金の実態を精査し、一般財源の
健全化を図り、安定した財政運営を目指し、外部
の方5人程度からなる補助金等検証委員会を設置
する。

Q、「がんばる地域交付金」とは。
A、アベノミクス効果の全国への波及効果が求められ
ている中で、景気回復が波及していない財政力の弱い
市町村が行う地域活性化に向けた事業に対し、平成25
年度補正予算において、がんばる地域交付金（地域活
性化・効果実感臨時交付金）を創設し、市町村が作成
したがんばる地域交付金実施計画に基づく事業費のう
ち、当該市町村が負担する経費に対し一定割合を交付
するもの。
本市では、交付金を本庁舎の外壁、屋上防水、給排
水設備の改修、カダーレの第2駐車場としての整備に
備えた庁舎東側の車庫や倉庫の改築、更には本荘北中
学校改修事業に活用する。交付額は4億7070万円
が見込まれる。

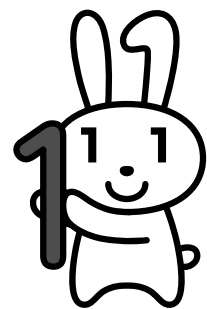


がんばる地域交付金を活用しての駐車場予定地

マイナンバー制度 への準備

Q、マイナンバー制度と本市の
取り組みは。

A、原則として、日本国内に住
む全ての人に、固有の番号を一
人に一つ交付されるもので、所
得隠しや不正受給の防止、手続
きの簡素化、高額医療費や介護
費の立替不要、きめ細かな社会
保障、災害時要援護者の迅速な
把握、各種手帳保険証が一枚で
可能となるなどのメリットが種
々あるが、デメリット面の研究
課題もあると言われている。
本市では、マイナンバー制度
活用本部を設置、小野副市長を
本部長としてその対応にあたっ
ている。
平成27年10月から付番・通知
が行われ、平成28年1月から番
号の利用がスタートする。



マイナンバー

常任委員会とは・・・

本市議会には、4つの常任委員会があり、議員はいずれかの委員会に所属。
各委員会では、それぞれが担当する事項の議案などを審査しています。

総務委員会の主な担当事項は・・・

財政全般、職員関係、税務、人口、定住、広報、防災、地域間交流 など

教育民生委員会の主な担当事項は・・・

社会福祉、健康福祉、消防、教育、生涯学習、スポーツ など

建設 常任委員会

早期の地すべり 復旧工事を

Q、市道安堵路上沼高屋線の災害復旧計画は。
A、この路線の災害は昨年の台風によるものである。
昨年、10月15日から17日にかけての台風26号の影響により累積降水量は、97mmを記録した。これにより杉森川の増水に伴う河川の洗掘や、地下水位の上昇などで、地滑りが発生し、市道や斜面に連続した多数の亀裂と河川への土砂崩落が認められたことから、復旧策を検討してきたものである。
復旧延長は49m、復旧工事費は工事費3千万円である。
工事は「河川シフト案」を採用し、カゴマット護岸工左岸16mで6段、右岸25mに7段を設置し、押え盛土工と地下水排除のための横ボーリング工を行う。財源は約6割が国庫支出金、3割が市債となっている。

河川シフト案とは

本地すべりの対岸は林野庁所管の沼山地すべり防止区域である。対岸斜面の掘削を避け河川敷地内の平坦地での対策工を行うもの。



工事予定箇所の現地調査(東由利杉森地内)

**除排雪の
最大効果を期待**
Q 物品購入契約の内容は。
A、本荘地域に配備する除雪ドーザ(13ト級)1台を1780万円、また、鳥海地域に配備するロータリ除雪車(2・2m級)1台を3218万4千円で購入するもので、契約は2台とも、(株)KCMJ秋田営業所と締結しようとするものである。
Q 入札の指名業者と落札率は。
A、除雪ドーザについては、指名業者は4社、落札率は予定価格に



冬期交通の安全確保に除雪力を強化

対し、75・3%である。
ロータリ除雪車の指名業者は2社で、落札率は84・9%である。
Q 更新の目安・時期はどのようなになっているか。
A、購入から約10年を目安に走行距離、故障発生率を加味し更新している。



Q 本市の水道普及率は。また、未普及地区の整備計画は。
A、本市の普及率は99・97%である。
本荘・岩城地域を除き66世帯、人口171人が未整備状況であるが、東由利地域板戸地区の11世帯については、平成26・27年度の2カ年で整備を行う。

快適な暮らしを支援

Q、住宅リフォーム資金助成事業の執行状況は。
A、平成25年度、24年度の実績は次のとおりである。

	平成25年度	平成24年度
交付決定件数	760件	944件
工事額合計	約13億5491万円	約16億9122万円
補助金合計	約6875万円	約8177万円

特産品を発信
Q 地域特産品チャレンジショップ運営事業とは。
A、由利本荘市産の農林水産物を活用して新たに開発提案された地域特産品の加工、販売を委託運営するもので、市内外への特産品の発信により、生産意識の高揚と特産品の販売促進を図る。



園芸メガ団地構想

Q、農地中間管理事業とは。
A、鳥海地域平根地区では農地集積加速化基盤整備事業が6月末から園芸メガ団地構想を目指し、圃場整備事業が始まる。整備後の農地の多くは、年度内に発足する農業法人が農地中間管理機構を通して借りる予定である。

園芸メガ団地とは
園芸振興をリードする大規模な園芸団地のことをいい、野菜や花きの産出額を飛躍的に向上させ、園芸経営に取り組む経営体を育成することを目標に整備するもの。



西目発電所の全景

Q 西目発電所の設備更新について。
A、この発電所は、かんがい面積450haの農地へ用水の安定供給を図り、農業の生産性の向上に資することを目的に、冷渡川と西目川を水源とする四角井戸ため池から受益地までの、上中幹線用水路L118・5kmの整備と併せて整備された。発電所は供用開始から25年経過し、水車や発電機、変圧設備といった主要施設の老朽化が著しいことから、将来においても長期に運用するため、設備の更新が必要となっている。

産業経済 常任委員会

鳥海山文化de元気

Q 文化遺産を活かした地域活性化事業とは。
A、由利本荘市の民俗芸能、伝統行事、祭礼行事などのガイドブック作成、DVDを制作し、市内全児童、生徒に配布するほか、関係団体に配布し、ふるさと学習や後継者育成に役立てる。また、歴史、伝統、文化体験事業として、小学生を対象とした「こどもフットパス」を開催しふるさと学習を実施する。



フットパスとは
フットパスとはイギリスを発祥とする森林や田園地帯、古い街並みなど地域に昔からあるありのままの風景を楽しむながら歩く「Foot」ができる、「こみち」[path]のよう。

鳥海山の麓を潤す 水の恵み

国療跡地利活用 特別委員会

7月上旬に事業用地取得

Q、国療跡地整備事業用地を市土地開発公社から購入予定だが、その面積と価格及び時期はいつ頃か。

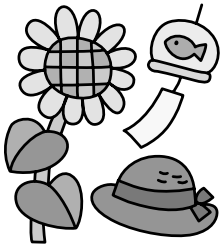
A、市土地開発公社が平成17年2月、国から国療跡地利活用事業用地として先行取得した土地のうち、民間社会福祉法人に売却した残りの面積11万533.5㎡を、総合防災公園整備事業等用地として7億9346万1987円で買い戻しする。時期は7月上旬を予定している。

実施設計及び地質調査業務委託費を減額

Q 当初予算で措置した実施設計及び地質調査業務委託費が減額となる理由は。

A、今年度の当初予算に措置した総合防災公園整備事業費のうち、平成25年度国の一号補正で採択され、3月定例会で補正予算を措置した実施設計及び地質調査業務委託費の重複分を減額するもの。

なお、建設実施設計業務委託は梓・アルファ設計共同企業体と1億1664万円で、地質調査等業務委託は明治コンサルタント(株)東北支店と1509万8400円で、それぞれ平成27年2月20日までの期間で業務委託契約を締結している。



第1回臨時会

(4月23日)

承認・可決

専決処分報告.....12件
一般会計補正予算...1件
その他.....2件

●市道猿倉花立線災害防除工事請負契約解除に係る和解について
土砂崩落の影響により工事再開の見通しが立たないことから、工事請負契約の解除に係る和解金を定め、解除契約を締結するもの。

●平成26年度一般会計補正予算
・市道猿倉花立線災害防除工事請負契約解除に係る和解金 3583万円
・市道吉沢東由利原線地滑り調査委託 3千万円

議会の動き

▼4月▲

- 3日＊議会報編集特別委員会
- 14日＊議会報編集特別委員会
- ＊市議会全員協議会
- ＊教育民生常任委員会協議会
- ＊会派代表者会議
- 17日～18日＊東北市議会議長会定期総会・懇談会・視察 (青森県弘前市)
- 21日＊議会運営委員会
- 23日＊第1回臨時会

▼5月▲

- 7日＊国療跡地利活用特別委員会協議会
- 8日～9日＊議会報編集特別委員会行政視察 (宮城県宮城郡利府町・岩手県胆沢郡金ヶ崎町)
- 19日＊会派代表者会議
- 26日＊議会運営委員会
- 27日＊国道398号改良整備促進期成同盟会総会 (湯沢市)
- 28日＊全国市議会議長会定期総会 (東京都)

議会報編集 特別委員会 行政視察

5月8日、9日

より見やすく
分かりやすく

委員会が新体制となったのを機にデザインを一新し内容もより分かりやすく、と改訂し発刊してきましたが、より良いものを作ろうとの思いから先進事例を学んできました。

【これから向け】

「私たちももっとスキルアップを」「発行要領を作成すべき」「クリニックスを依頼すべき」等々、前向きな意見が出され、大変有意義な研修でした。

この研修の成果を今後の議会報に生かし取り組んでまいります。

【宮城県利府町】

定例会に合わせて開かれる委員会などで特別委員会ではないだろう、として常任委員会へ改組したほどの町であり、編集に対する熱い思いが感じられた研修でした。
「あの提言はどうなっているの?」
と以前の質問のなかから一部を取り上げての追跡レポートの掲載や、絵



利府町での研修

や写真をより多く取り入れることへのこだわりがあります。
議会報は「中高生の社会教育の材料となり得るもの」を使命としている、とのことにも驚かされました。

【岩手県金ヶ崎町】

「ありのまま分かりやすく」「議員の力で」「スピード発行」を共通認識として制作しており、表紙の写真はシリーズ化 (今は双子の赤ちゃんシリーズ、見開きページの工夫、閉会後約22日というスピード発刊を目指しています。

また、編集要領を策定しており、文字のサイズや余白の割合までも決めるという徹底ぶりです、さすが全国最優秀をとった広報委員会です。

関係私企業の請負契約などの状況報告

議会議員政治倫理条例にかかわる関係私企業との10万円を超える請負契約などについて、市長から5月26日付で報告がありましたので次のとおり公表します。

関係する議員	事業名	請負人の氏名	金額	契約年月日または支払い年月日	契約期間または物品等納入期日
吉田 朋子	物品などの購入	協和石油(株)	424,718円	平成26年1月9日	平成26年1月9日
			432,961円	平成26年2月12日	平成26年2月4日～12日
			968,493円	平成26年3月31日	平成26年3月4日～12日

このように使いました

議長交際費

(平成26年4月～6月の内訳)

◎慶祝、協賛など

【4月】 2件 10,000円
【5月】 16件 83,306円
【6月】 10件 60,443円

◎弔事

2件 35,000円

詳細につきましては
市ホームページをご覧ください。

関係私企業とは…

議員または議員の配偶者、1親等内の血族もしくは同居の親族が実質的に経営に携わっている企業のことをいいます。

特別委員会は、特定の課題などについて、専門的に審査・調査するために設置するもので、本市議会では、国療跡地利活用事業について、効率的かつ集中的な審査を行うため、国療跡地利活用特別委員会を設置しています。



少子化対策と結婚支援に力を入れるべき！

高橋 和子
(会派 高志会)

◆あきた結婚支援センターを本市に設立すべき

問 少子化に歯止めがかからず苦慮している中で、現実に実績を上げているあきた結婚支援センターを地域に浸透させて、きめ細かく対応できるよう本市にも設立し若い方々に支援を。

答 市の登録会員数、成婚報告数はともに前年度より多くなっている。センター設立は、県内配置バランスや母体の構成員である県、市町村などの合意形成が必要であり難しい。

◆鳥海ダム周辺環境整備構想を出すべき

問 法体の滝などがある地域であり、ダムができることによって、観光地としての魅力が増す。周辺環境整備構想を早期に策定し、早期建設着手と完成に向け要望を強めるべき。

質問項目

- 鳥海ダムの建設促進について
- 民族芸能伝習拠点施設整備事業について
- 鳥海診療所の運営について
- あきた結婚支援センターについて
- 地域コミュニティについて

答 国では、今年度は予定地周辺の基準点測量などを進めていくこととしており、また、基本計画策定に向け調査検討を進めるとしている。

地域の要望を反映した計画が策定され、予定地住民の生活再建の道筋が早期に示されるよう積極的に働きかける。

◆地域コミュニティの再生を

問 少子化や高齢化、人口流出などで従来の地域コミュニティが維持できないところが多く出てきた。専任の職員を配置し、対話を重ね、集落の再生、再編に結びつけるべき。

答 本庁や総合支所で関係職員が活動などに対する支援、助言をしているが、組織ごとに詳細を把握するため、今まで以上に現場に出向く方針である。

質問項目

- 秋田へのカジノ誘致は反対すべき
- 国保税のさらなる引き下げを
- 環鳥海山観光振興について
- 教育振興について

ことばかり宣伝されるが、犯罪組織の生成、青少年への悪影響、客の社会生活の破綻など社会的に負の生産しかない。本市へも大きく影響する。カジノ誘致は反対すべきである。

答 カジノ開設を合法化する法案が衆議院に提出されたが未だ審議されてないので私の所感は差し控える。

◆国保税のさらなる引き下げを

問 本市では過去2年間で1世帯平均2万9千円の引き下げがあった。法定外繰り入れや基金の活用などで、引き下げはできないか。

答 本年度も実質単年度収支が2億円近いマイナスとなる見込みであるが、税率を据え置く方針とした。



人口減少対策には具体的な取り組みを示すべき！

湊 貴信
(会派 高志会)

◆人口減少を見据えた施策について

問 「消滅可能性都市」と示されたことを受け、「前向きに取り組む」という抽象的なことなく、より具体的な取り組み姿勢を示すべき。

答 最重要課題を「地域産業戦略による雇用の創出」、「子どもを産み育てやすい環境づくり」とし、具体的な成果目標を数値設定し実行する。

◆大河ドラマ「真田丸」決定を活かした観光振興について

問 本市亀田地区には真田幸村の娘、御田の方が建立したとされる妙慶寺や真田家ゆかりの品々が保存されている。その真田幸村の生涯を描く「真田丸」が2016年度の大河ドラマに決定したことを受け、観光振興策を立案すべきではないか。

答 市も署名活動をするなどしてきたこともあり「真田丸」決定は大変喜ばしく思う。積極的に

質問項目

- 大河ドラマ「真田丸」決定を活かした観光振興について
- 高齢者介護サービスについて
- 教育行政について
- 第三セクターについて
- 人口減少を見据えた施策について
- コンビニを活かしての住民サービスについて

関連イベントの開催やマスメディアへの情報提供、受け入れ体制の整備を進めていく。

◆地域包括支援センターを拡充すべきでは

問 本市では本庁舎に1カ所しか設置されていないが、きめ細やかな支援をするため拡充すべきではないか。

答 機能の充実・強化のため、市内を3分割にエリア分けしセンターを設置する計画を進める。

◆「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律案」について

問 審議されている法改正に関して教育長の所感は。

答 これまでも重要な施策は市長部局と密接に連携してきた。法改正後もこれまで以上に一体となった教育行政ができると確信している。



環鳥海山観光振興に力を入れるべき！

佐々木 隆一
(会派 日本共産党)

◆鳥海山を核とした観光振興について

問 現在、主なスポーツイベントだけでも本市の矢島カップ、にかほ市のトライアスロン大会、自転車登坂レース、遊佐町のシートゥーサミットなどがある。他市町とも連携協力していく必要があると思うが。

答 観光関連団体との連携をさらに強化し、スポーツを観光誘客に結びつけて行くことは大変重要であると考えている。

◆秋田へのカジノ誘致は反対すべき

問 秋田商工会議所では、カジノを核とする特定複合観光施設の誘致を目指す動きが活発化している。

カジノは経済効果に税収増、観光客の増加などいい

質問項目

- 安全対策について
- 人口減少対策について
- 石脇通線の整備計画について
- 空き家対策について
- ふるさとの文人・偉人の碑について

答 道路利用者及び第三者の被害を防止する観点から、橋梁、トンネル、舗装、道路付属物、法面などの損傷状況を把握するための道路ストック総点検を実施し、その結果に基づいて対策を講じていく。

◆人口減少対策について

問 未婚化・晩婚化の進行を防ぐための方策は。

答 県や市町村、民間団体が共同で設立した「あきた結婚支援センター」による平成25年度中の成婚報告者は、188人と会員登録者の10%を超えている。また、本市独自の取り組みの「婚活支援事業補助金」を創設し、地域活動団体に交付したところ、3組のカップルが誕生した。引き続き取り組んでいく。



石脇通線の整備を！

高野 吉孝
(会派 創風)

◆石脇通線の整備を、次期総合計画でできないか

問 現在でも渋滞や危険な状態がある石脇通線は、国療跡地のアリーナ（駐車場約千台）が完成した場合、大渋滞になることは間違いない。拡幅が困難であれば、危険箇所を解消するとか、一部バイパス化や、田尻石脇線の拡幅を延伸させて石脇通線と結ぶなどの整備をすべきでないか。

答 国療跡地利活用基本計画完成後に、拡幅が良いか、他のルートが良いか、都市計画道路の見直しを含めて検討していく。

◆安全対策について

問 地震や大雨が続いた場合に、地滑りの危険性のある箇所を総点検し、対策を立てるべきではないか。